

11.システム設定

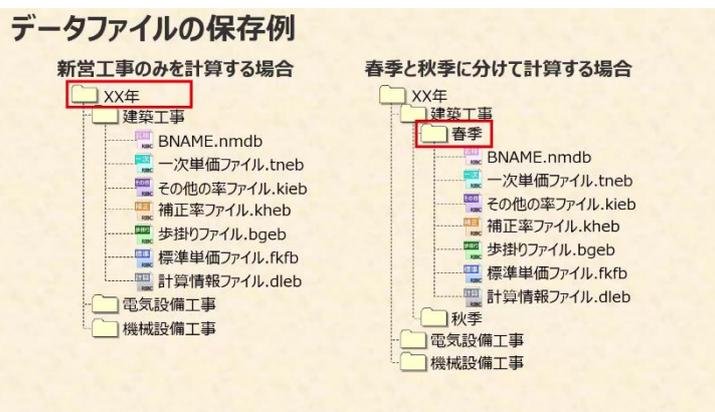
①システム設定

a.[開く]、[名前を付けて保存]等の操作で、最初に開かれるフォルダーを設定する
(既定のファイルの場所の設定)

既定のファイルの場所の設定について説明します。
既定のファイルの場所とはファイルを開く操作や、
名前を付けて保存の操作などで最初に表示されるフォルダーのことです。

標準単価作成システムで扱うデータファイルの保存方法には、
新営工事のみを計算する方法や、春季と秋季に分けて計算をする方法など、
さまざまな方法があります。

作成する単価の区分に合わせて、作成する年度のフォルダーや、
作成する時期のフォルダーを既定のファイルの場所にするにより、
その都度作成や保存をするフォルダーを選択する手間を省くことができます。



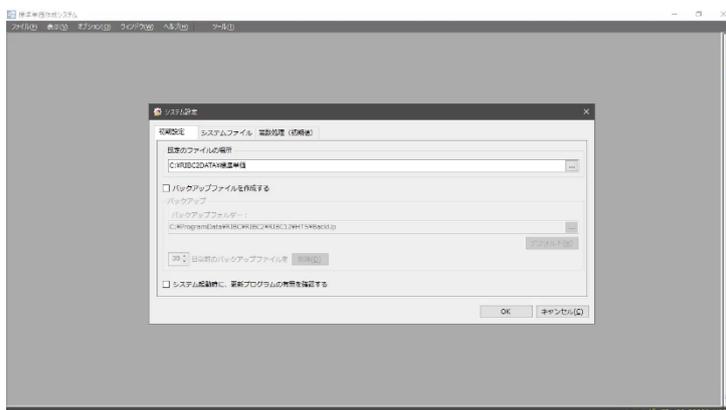
① 「オプション」メニューをクリックします。



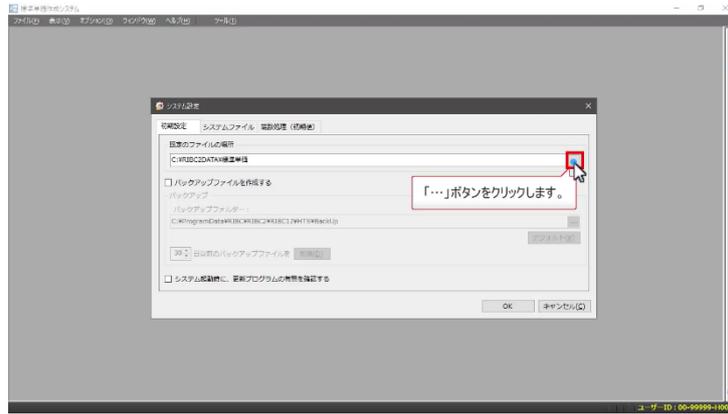
② 「システム設定」をクリックします。



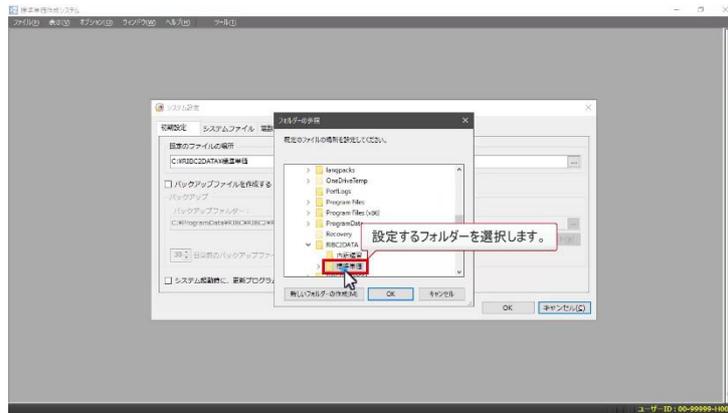
システム設定画面が表示されますが、今回は設定内容を確認するので変更はしません。
それでは設定方法を説明します。



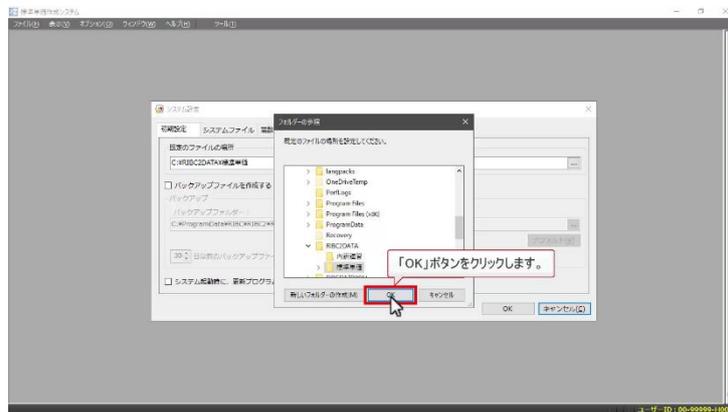
- ③ 既定のファイルの場所を設定するので、システム設定画面の「…」をクリックします。



- ④ フォルダの参照画面が表示されるので、既定のファイルの場所に設定するフォルダを選択します。



- ⑤ フォルダの参照画面の「OK」をクリックします。



既定のファイルの場所名に選択したフォルダが設定されます。
今回は既定のファイルの場所の設定は変更しません。



⑥ キャンセル(C) をクリックします。

